

草津白根山周辺における地震活動（2004年5月）*

Earthquake activity around Mt. Shirane, (May, 2004)

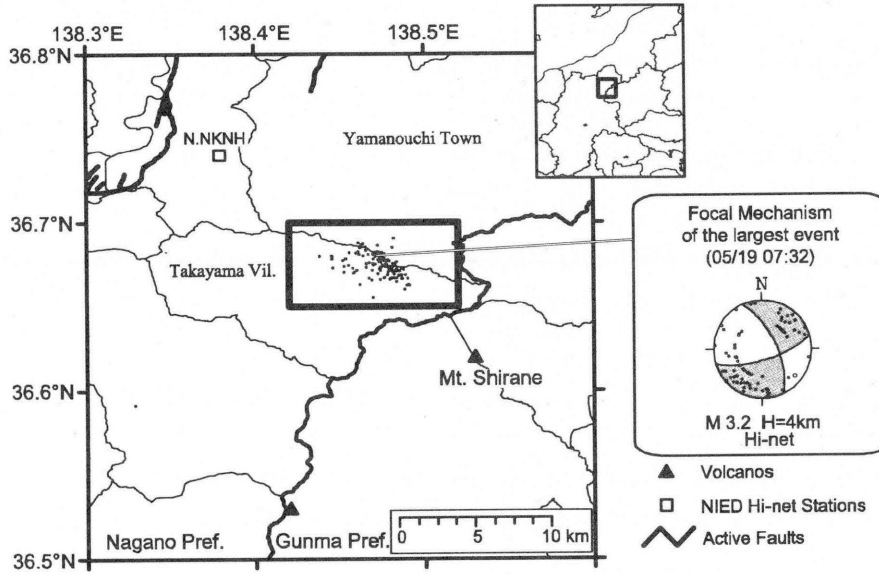
防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2004年5月19日5時50分頃から、草津白根山の北西約8kmの地域で活発な群発地震活動が発生した。第1図に防災科研Hi-netの定常処理によって求められた震央分布を示す。震源は長野県山ノ内町と同県高山村の町村界付近に分布している。5月19日7時32分頃に発生した最大地震は、北東-南西伸張の横ずれ断層型のメカニズム（防災科研Hi-netによる初動解）を持つことが推測されている。なお、一連の地震活動において、低周波地震の発生は確認されていない。

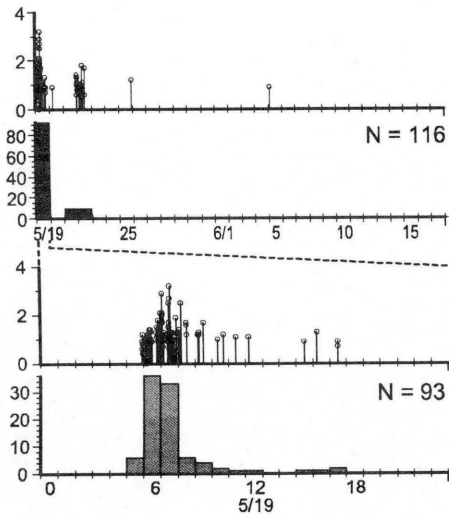
当該地域のこれまでの地震活動状況を第3図に示す。ここでは、気象庁一元化処理震源情報を使用した。松代付近（北緯36.6度）や長野・新潟県境付近（北緯37.0度付近）では、これまでに何度かの群発的な地震活動があったことが確認出来るが、今回の地震活動の領域（図中太枠内）では、最近7年間に活発な活動は見受けられない（第3図、網掛部）。

* Received 13 September, 2004



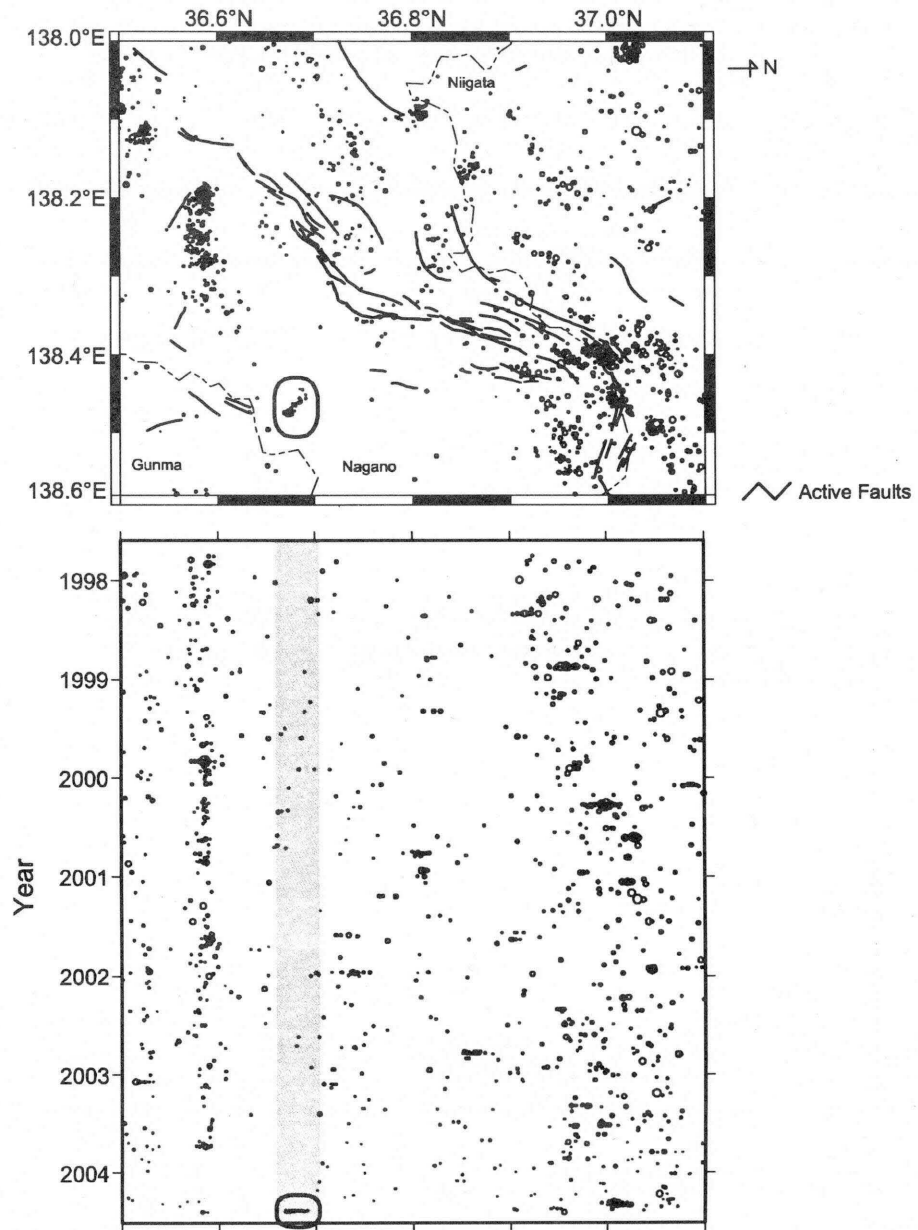
第1図 防災科研Hi-netにより求められた深さ20km以浅の地震の震央分布(2004年5月19日~6月17日)及び最大地震の発震機構解(防災科研Hi-netによる初動解)。

Fig.1 Left) Epicenter distribution around Mt. Shirane for the period from May 19 to June 17, 2004. Right) Focal mechanism of the largest event determined by the Hi-net.



第2図 地震活動(図1の矩形領域内)の推移。
上段: 期間中のM-T図及び日別地震回数。
下段: 5/19日のM-T図及び時間別地震回数。

Fig.2 M-T and N-T diagrams for the earthquakes at region show in Fig.1.



第3図 1997年10月以降に長野県北部及びその周辺域の地殻内（深さ5～25km）で発生した地震の震央分布と時空間分布。気象庁一元化処理震源情報を使用した。

Fig. 3 Epicentral distributions and space-time diagram for earthquakes with 5 to 25km in depth.